







セラ・アズール植民地にては、舊暦二十日に定期總會を開き、昭和六年度の會計及び會務の報告を爲して後昭和七年度の重要事項に關し協議を遂げたるが、特に六年四月以來の私立公認學校經營に關しての日伯兩教員報酬は目下不況の際困難たるを免かれざるも、大切な兒童教育の事なれば何とか方法つけねばならぬ事とし、又ベナンナ視學官に公認出願中の處近頃認可立學校の許可ありて一層學校經營に力を注ぐこととなつてゐる、改選の結果本年度の役員顔觸れ左の如くである。

邦人コロノに  
ナスの有る耕地  
珈琲の大暴落、金融の杜絶と云ふ恐慌に出逢つたブラジル珈琲

副會長 九谷群藏  
會計 甲斐友喜  
常任理事 馬場鶴太郎  
務委員 塙龜太郎

レード耕地はバガメント・ゼーラーを二百五十コントスも十カフエーランシャニヤ驛シヤンテン

一月中に支拂を爲し、涼しい顔をしてゐる上に今度は、在耕中

別に三日間の慰勞休暇を與へ、

新年元旦にはボーナスの意味で

金額五コントスを耕主は提供し

同日午前中は大運動會、午後

は角力大會を催し、優勝者にそ

れく賞品を與へ且つ一般に馳走を振舞つた、猶又家族的娛樂として青年團員は夜間芝居、手踊を催ほし一同をして大喜びに

喜ばせたは、耕主の其の措置宜しくを得たることをも忘る

に、邦人コロノが互ひに心を一にして能く働き、耕王をして満足せしめたるにあるは勿論なる

も、尙ほ尾崎孫三郎氏の指導其の宜しきを得たることをも忘る

べきを得たものと云はれてゐる

左の如くである。

改選の結果本年度の役員顔觸れ

左の如くである。

邦人コロノに

ナスの有る耕地

珈琲の大暴落、金融の杜絶と云ふ恐慌に出逢つたブラジル珈琲

副會長 九谷群藏  
會計 甲斐友喜  
常任理事 馬場鶴太郎  
務委員 塙龜太郎

レード耕地はバガメント・ゼーラーを二百五十コントスも十カフエーランシャニヤ驛シヤンテン

一月中に支拂を爲し、涼しい顔をしてゐる上に今度は、在耕中

別に三日間の慰勞休暇を與へ、

新年元旦にはボーナスの意味で

金額五コントスを耕主は提供し

同日午前中は大運動會、午後

は角力大會を催し、優勝者にそ

れく賞品を與へ且つ一般に馳走を振舞つた、猶又家族的娛樂として青年團員は夜間芝居、手踊を催ほし一同をして大喜びに

喜ばせたは、耕主の其の措置宜しくを得たることをも忘る

べきを得たものと云はれてゐる

左の如くである。

改選の結果本年度の役員顔觸れ

左の如くである。

邦人コロノに

ナスの有る耕地

珈琲の大暴落、金融の杜絶と云ふ恐慌に出逢つたブラジル珈琲

副會長 九谷群藏  
會計 甲斐友喜  
常任理事 馬場鶴太郎  
務委員 塙龜太郎

レード耕地はバガメント・ゼーラーを二百五十コントスも十カフエーランシャニヤ驛シヤンテン

一月中に支拂を爲し、涼しい顔をしてゐる上に今度は、在耕中

別に三日間の慰勞休暇を與へ、

新年元旦にはボーナスの意味で

金額五コントスを耕主は提供し

同日午前中は大運動會、午後

は角力大會を催し、優勝者にそ

れく賞品を與へ且つ一般に馳走を振舞つた、猶又家族的娛樂として青年團員は夜間芝居、手踊を催ほし一同をして大喜びに

喜ばせたは、耕主の其の措置宜しくを得たることをも忘る

べきを得たものと云はれてゐる

左の如くである。

改選の結果本年度の役員顔觸れ

左の如くである。

邦人コロノに

ナスの有る耕地

珈琲の大暴落、金融の杜絶と云ふ恐慌に出逢つたブラジル珈琲

副會長 九谷群藏  
會計 甲斐友喜  
常任理事 馬場鶴太郎  
務委員 塙龜太郎

レード耕地はバガメント・ゼーラーを二百五十コントスも十カフエーランシャニヤ驛シヤンテン

一月中に支拂を爲し、涼しい顔をしてゐる上に今度は、在耕中

別に三日間の慰勞休暇を與へ、

新年元旦にはボーナスの意味で

金額五コントスを耕主は提供し

同日午前中は大運動會、午後

は角力大會を催し、優勝者にそ

れく賞品を與へ且つ一般に馳走を振舞つた、猶又家族的娛樂として青年團員は夜間芝居、手踊を催ほし一同をして大喜びに

喜ばせたは、耕主の其の措置宜しくを得たることをも忘る

べきを得たものと云はれてゐる

左の如くである。

改選の結果本年度の役員顔觸れ

左の如くである。

邦人コロノに

ナスの有る耕地

珈琲の大暴落、金融の杜絶と云ふ恐慌に出逢つたブラジル珈琲

副會長 九谷群藏  
會計 甲斐友喜  
常任理事 馬場鶴太郎  
務委員 塙龜太郎

レード耕地はバガメント・ゼーラーを二百五十コントスも十カフエーランシャニヤ驛シヤンテン

一月中に支拂を爲し、涼しい顔をしてゐる上に今度は、在耕中

別に三日間の慰勞休暇を與へ、

新年元旦にはボーナスの意味で

金額五コントスを耕主は提供し

同日午前中は大運動會、午後

は角力大會を催し、優勝者にそ

れく賞品を與へ且つ一般に馳走を振舞つた、猶又家族的娛樂として青年團員は夜間芝居、手踊を催ほし一同をして大喜びに

喜ばせたは、耕主の其の措置宜しくを得たることをも忘る

べきを得たものと云はれてゐる

左の如くである。

改選の結果本年度の役員顔觸れ

左の如くである。

邦人コロノに

ナスの有る耕地

珈琲の大暴落、金融の杜絶と云ふ恐慌に出逢つたブラジル珈琲

副會長 九谷群藏  
會計 甲斐友喜  
常任理事 馬場鶴太郎  
務委員 塙龜太郎

レード耕地はバガメント・ゼーラーを二百五十コントスも十カフエーランシャニヤ驛シヤンテン

一月中に支拂を爲し、涼しい顔をしてゐる上に今度は、在耕中

別に三日間の慰勞休暇を與へ、

新年元旦にはボーナスの意味で

金額五コントスを耕主は提供し

同日午前中は大運動會、午後

は角力大會を催し、優勝者にそ

れく賞品を與へ且つ一般に馳走を振舞つた、猶又家族的娛樂として青年團員は夜間芝居、手踊を催ほし一同をして大喜びに

喜ばせたは、耕主の其の措置宜しくを得たることをも忘る

べきを得たものと云はれてゐる

左の如くである。

改選の結果本年度の役員顔觸れ

左の如くである。

邦人コロノに

ナスの有る耕地

珈琲の大暴落、金融の杜絶と云ふ恐慌に出逢つたブラジル珈琲

副會長 九谷群藏  
會計 甲斐友喜  
常任理事 馬場鶴太郎  
務委員 塙龜太郎

レード耕地はバガメント・ゼーラーを二百五十コントスも十カフエーランシャニヤ驛シヤンテン

一月中に支拂を爲し、涼しい顔をしてゐる上に今度は、在耕中

別に三日間の慰勞休暇を與へ、

新年元旦にはボーナスの意味で

金額五コントスを耕主は提供し

同日午前中は大運動會、午後

は角力大會を催し、優勝者にそ

れく賞品を與へ且つ一般に馳走を振舞つた、猶又家族的娛樂として青年團員は夜間芝居、手踊を催ほし一同をして大喜びに

喜ばせたは、耕主の其の措置宜しくを得たることをも忘る

べきを得たものと云はれてゐる

左の如くである。

改選の結果本年度の役員顔觸れ

左の如くである。

邦人コロノに

ナスの有る耕地

珈琲の大暴落、金融の杜絶と云ふ恐慌に出逢つたブラジル珈琲

副會長 九谷群藏  
會計 甲斐友喜  
常任理事 馬場鶴太郎  
務委員 塙龜太郎

レード耕地はバガメント・ゼーラーを二百五十コントスも十カフエーランシャニヤ驛シヤンテン

一月中に支拂を爲し、涼しい顔をしてゐる上に今度は、在耕中

別に三日間の慰勞休暇を與へ、

新年元旦にはボーナスの意味で

金額五コントスを耕主は提供し

同日午前中は大運動會、午後

は角力大會を催し、優勝者にそ

れく賞品を與へ且つ一般に馳走を振舞つた、猶又家族的娛樂として青年團員は夜間芝居、手踊を催ほし一同をして大喜びに

喜ばせたは、耕主の其の措置宜しくを得たることをも忘る

べきを得たものと云はれてゐる

左の如くである。

改選の結果本年度の役員顔觸れ

左の如くである。

邦人コロノに

ナスの有る耕地

珈琲の大暴落、金融の杜絶と云ふ恐慌に出逢つたブラジル珈琲

副會長 九谷群藏  
會計 甲斐友喜  
常任理事





敵討館諸共

長谷川伸

東海道川崎宿の灯ともし頃からはたごを一軒づゝ尋ね歩いてゐる旅の武士は、十二日の夜淺草川の大橋で酒田五郎兵衛を討ち果した郡勝馬である。勝馬があの時、橋の平野にくつりつけて置いた包は今の勝馬が身につけてゐる旅支度であつた。

「いや、泊り客ではない、當家に泊つてゐる攝州の人で酒出

元助殿に逢ひたいのだ」

「へい、酒出様と仰せになりますと」

「今、二階から諸方を眺めてゐた二十四歳の武士だ、わかつた

宿場を外にした化しさだ。

「さなただ、酒出はわしだが、

破れ築地を少しほなれて、元

助は聲をかけながら四方を見廻

した。

「拙者だ、郡勝馬だ、まあこ

かきを眺めるどもなく眺めてゐた勝馬は、はツとして物驚きを

したが、聞もなく急いで直前に

ある軒行燈にまつこ屋であるは

にご屋の軒をくゞつた。

「いや、泊り客ではない、當

地の内部に入つた、そこは寺の

境内で、あれに任せた三四十

坪、ひつそり閑ごとした、その奥

に寺があるかなきかに、賑かな

宿場を外にした化しさだ。

「さなただ、酒出はわしだが、

破れ築地を少しほなれて、元

助は聲をかけながら四方を見廻

した。

「拙者だ、郡勝馬だ、まあこ

かきを眺めるどもなく眺めてゐた勝馬は、十五日の今夜はこ

とで、その子の元助を討ち果し

てのける積りなのである。

十二日の夜親の五郎兵衛を討

つた勝馬は、十五日の今夜はこ

とで、その子の元助を討ち果し

てのける積りなのである。

かきを眺めるどもなく眺めてゐた勝馬は、はツとして物驚きを

したが、聞もなく急いで直前に

ある軒行燈にまつこ屋であるは

にご屋の軒をくゞつた。

「いや、泊り客ではない、當

地の内部に入つた、そこは寺の

境内で、あれに任せた三四十

坪、ひつそり閑ごとした、その奥

に寺があるかなきかに、賑かな

宿場を外にした化しさだ。

「さなただ、酒出はわしだが、

破れ築地を少しほなれて、元

助は聲をかけながら四方を見廻

した。

「拙者だ、郡勝馬だ、まあこ

かきを眺めるどもなく眺めてゐた勝馬は、はツとして物驚きを

したが、聞もなく急いで直前に

ある軒行燈にまつこ屋であるは

にご屋の軒をくゞつた。

「いや、泊り客ではない、當

地の内部に入つた、そこは寺の

境内で、あれに任せた三四十

坪、ひつそり閑ごとした、その奥

に寺があるかなきかに、賑かな

宿場を外にした化しさだ。

「さなただ、酒出はわしだが、

破れ築地を少しほなれて、元

助は聲をかけながら四方を見廻

した。

「拙者だ、郡勝馬だ、まあこ

かきを眺めるどもなく眺めてゐた勝馬は、はツとして物驚きを

したが、聞もなく急いで直前に

ある軒行燈にまつこ屋であるは

にご屋の軒をくゞつた。

「いや、泊り客ではない、當

地の内部に入つた、そこは寺の

境内で、あれに任せた三四十

坪、ひつそり閑ごとした、その奥

に寺があるかなきかに、賑かな

宿場を外にした化しさだ。

「さなただ、酒出はわしだが、

破れ築地を少しほなれて、元

助は聲をかけながら四方を見廻

した。

「拙者だ、郡勝馬だ、まあこ

かきを眺めるどもなく眺めてゐた勝馬は、はツとして物驚きを

したが、聞もなく急いで直前に

ある軒行燈にまつこ屋であるは

にご屋の軒をくゞつた。

「いや、泊り客ではない、當

地の内部に入つた、そこは寺の

境内で、あれに任せた三四十

坪、ひつそり閑ごとした、その奥

に寺があるかなきかに、賑かな

宿場を外にした化しさだ。

「さなただ、酒出はわしだが、

破れ築地を少しほなれて、元

助は聲をかけながら四方を見廻

した。

「拙者だ、郡勝馬だ、まあこ

かきを眺めるどもなく眺めてゐた勝馬は、はツとして物驚きを

したが、聞もなく急いで直前に

ある軒行燈にまつこ屋であるは

にご屋の軒をくゞつた。

「いや、泊り客ではない、當

地の内部に入つた、そこは寺の

境内で、あれに任せた三四十

坪、ひつそり閑ごとした、その奥

に寺があるかなきかに、賑かな

宿場を外にした化しさだ。

「さなただ、酒出はわしだが、

破れ築地を少しほなれて、元

助は聲をかけながら四方を見廻

した。

「拙者だ、郡勝馬だ、まあこ

かきを眺めるどもなく眺めてゐた勝馬は、はツとして物驚きを

したが、聞もなく急いで直前に

ある軒行燈にまつこ屋であるは

にご屋の軒をくゞつた。

「いや、泊り客ではない、當

地の内部に入つた、そこは寺の

境内で、あれに任せた三四十

坪、ひつそり閑ごとした、その奥

に寺があるかなきかに、賑かな

宿場を外にした化しさだ。

「さなただ、酒出はわしだが、

破れ築地を少しほなれて、元

助は聲をかけながら四方を見廻

した。

「拙者だ、郡勝馬だ、まあこ

かきを眺めるどもなく眺めてゐた勝馬は、はツとして物驚きを

したが、聞もなく急いで直前に

ある軒行燈にまつこ屋であるは

にご屋の軒をくゞつた。

「いや、泊り客ではない、當

地の内部に入つた、そこは寺の

境内で、あれに任せた三四十

坪、ひつそり閑ごとした、その奥

に寺があるかなきかに、賑かな

宿場を外にした化しさだ。

「さなただ、酒出はわしだが、

破れ築地を少しほなれて、元

助は聲をかけながら四方を見廻

した。

「拙者だ、郡勝馬だ、まあこ

かきを眺めるどもなく眺めてゐた勝馬は、はツとして物驚きを

したが、聞もなく急いで直前に

ある軒行燈にまつこ屋であるは

にご屋の軒をくゞつた。

「いや、泊り客ではない、當

地の内部に入つた、そこは寺の

境内で、あれに任せた三四十

坪、ひつそり閑ごとした、その奥

に寺があるかなきかに、賑かな

宿場を外にした化しさだ。

「さなただ、酒出はわしだが、

破れ築地を少しほなれて、元

助は聲をかけながら四方を見廻

した。

「拙者だ、郡勝馬だ、まあこ

かきを眺めるどもなく眺めてゐた勝馬は、はツとして物驚きを

したが、聞もなく急いで直前に

ある軒行燈にまつこ屋であるは

にご屋の軒をくゞつた。

「いや、泊り客ではない、當

地の内部に入つた、そこは寺の

境内で、あれに任せた三四十